

長久手市行政評価票 (A票: 事業評価票)

事業番号	9	事業名	リモテラス事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款一項目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 リモテラス公益施設(仮称)整備基本計画			2-1-9 まちづくり協働費	
	事業開始の背景、経緯等	第5次長久手市総合計画で掲げる将来像「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」の実現に向けて、主要プロジェクト「リモテラス構想※」を掲げた。 ※リモテラスをまちの顔として整備し、市民が集い、訪れる人をもてなす場を創出すること。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可			(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) リモテラス古戦場駅前に、まちの新たな顔として、公益施設、大型商業施設等で構成される「リモテラス」を整備する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、長久手市来訪者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出する。				

項目	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
事業費(A)	千円	予算	5,419	33,418	3,047	214,022	146,527
		決算	5,391	11,623	25,053	213,552	
人件費(B)	千円	決算	5,347	8,865	10,620	6,360	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	10,738	20,488	35,673	219,912	
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		515	1,576	1,410	674	960
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		-	-	20	122	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
リモテラス事業に関わる市民の数	人	目標	500	1,000	1,500	2,000	960
		実績	515	1,576	1,410	674	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
リモテラス公益施設の事業運営に関わる市民の数			リモテラス公益施設の事業運営に関わる市民の数として、4つのテーマに係る団体、個人などを想定。 4テーマ×20人×12か月=960人				
(前年から指標を変更した場合はその理由)			公益施設が開館するため、事業運営に関わる市民に指標を変更(R3~)				
(前年までの指標)			リモテラス整備事業に関わった市民の数				

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) リモテラス実証実験や施工ワークショップ、2号公園設計ワークショップにより市民がリモテラスに直接関わることができ、開館を見据えて関わりをもつ市民を増やすという点で成果があった。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 公益施設開館に向けた運営WSで事業運営を考え、実証実験をこれまで関わってきた団体等が担い手となって実施できた。施工WSでは土壁塗りなど市民が建物の施工に直接関わることができた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 市民自らがリモテラス事業の事業運営の担い手となるように、指定管理者とリモテラス運営協議会の連携が重要となる。(開館後に利用者ミーティングを設ける予定)

事業を構成する事務事業①	リモテラス整備事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	300	-	-	-	-
			実績	199	-	-	-	-
(2)	【アクションプラン】 施設	施設	見込	1	1	1	1	1
			実績	1				
(3)	イベント実施数	回	見込	10	-	-	-	-
			実績	6	-	-	-	-
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 施工ワークショップ3回(土壁塗り、フローリング施工、外壁の杉板張りなど)68人 中央2号公園グレードアップ設計ワークショップ3回131人							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	リモテラスにぎわい創出事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	2,000	-	-	-	-
			実績	475	-	-	-	-
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】イベント実施回数	回	見込	8	-			
			実績	4	-			
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 運営ワークショップ2回(25人) 実証実験イベント(300人)、上棟イベント(150人)							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	リモテラスにぎわい創出事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 公益施設において、リモテラス運営協議会と指定管理者が連携して、市内外に向けた発信力のある事業を企画・運営する。隣接する2号公園のグレードアップ後に、公園と施設が一体となった事業を実施できるようにする。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 公益施設でリモテラス運営協議会と指定管理者の連携による指定管理事業を確実に実施する。2号公園は、運営を検討するパークマネジメント会議を立ち上げて、様々な団体の連携による公園の運営ができるようにする。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	事業実施の際には、新たな職入の確保につながるよう検討を行ってください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・指定管理と市民協働を融合した取組を進めているため、他の施設にも同様なことができるかなど、効果を分析してください。
内部意見への回答		